

【表 3・(3)】研究成果(8)

サブテーマ名：ミネラル吸収機構とミネラル吸収促進食素材の開発 小テーマ名：DFA の保健機能食品に向けたヒト確かめ試験															
サブテーマリーダー 北大院農 教授 原 博 研究従事者 株式会社ファンケル中央研究所 主任研究員 辻 智子															
研究の概要、新規性及び目標 研究の概要 DFA のカルシウム吸収促進効果について、ヒト介入試験を実施 研究の独自性・新規性 DFA を用いたヒト介入試験は他に例がない。 研究の目標 7日間程度の短期及び1ヵ月程度の長期によるDFA 摂取試験(フェーズ テーマ)															
															達成率100%
研究の進め方及び進捗状況 ヒトへのDFA の一日当たり摂取量の決定試験を行い3g/日を設定。これを第1群とし、第2群として、カルシウム300mg/日+DFA 3g/日の2群を設け、一週間摂取後、解析。 その結果、DFA 摂取でカルシウム吸収が増加したことを確認。															
主な成果 具体的な成果内容： ヒト介入試験でもDFA のカルシウム吸収促進を確認。また、 <i>in vivo</i> 試験において解明できなかった生理作用を確認特許出願 特許件数：0 論文数：0 口頭発表件数：3															
研究成果に関する評価 1 国内外における水準との対比 DFA を食素材化したサプリメントは国内外にない。 2 実用化に向けた波及効果 長期摂取試験を経て商品化を推進中															
残された課題と対応方針について DFA の食品としての安全性を確認するため、さらに長期的なヒト介入試験を行う。 腸内細菌叢のモニタリングは技術員南田が実施する予定。															
	JST負担分(千円)							地域負担分(千円)							合計
	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	H10	H11	H12	H13	H14	H15	小計	
人件費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,120	2,120	0	4,240	4,240
設備費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,500	0	0	2,500	2,500
研究費	0	0	0	9,000	0	0	9,000	0	0	0	6,320	18,820	0	25,140	34,140
旅 費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	50	50	0	100	100
小 計	0	0	0	9,000	0	0	9,000	0	0	0	10,990	20,990	0	31,980	40,980
代表的な設備名と仕様 [既存 (事業開始前) の設備含む] JST負担による設備： 地域負担による設備：呼気中水素測定システム															